

疾患別診療計画書

川崎病で入院される方へ

	入院時	3日目頃	7日目頃	10日目以降 退院
検査	・心電図 ・心エコー ・採血 ・レントゲン	採血 	・心電図 ・心エコー ・採血 ・レントゲン	
治療	<ul style="list-style-type: none"> ・点滴は医師の指示があるまで続けます。 ・γグロブリンは24時間かけて行います。 ・診断されると同時にアスピリンの内服が始まります。退院前に薬剤師から内服についてお話を致します。 ・発熱時には必要時応じて解熱剤や氷枕を使用します。 			退院の時にお薬をお渡しします。
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・発熱、痛み、かゆみ等の苦痛が軽減され眠れる。 ・持続点滴によるトラブルが起きない。 ・川崎病について基本的な知識が得られる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・皮膚、口唇、口腔内の不快感が軽減され、食事摂取量が増える。 ・発熱しない。 ・機嫌がよく活動性が高まる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・薬の内服が確実に継続できる。 ・定期的な外来受診ができる。 ・機嫌がよく活気がある。 ・自宅での生活について不安が軽減される。
清潔	<ul style="list-style-type: none"> ・口唇は乾燥して亀裂が生じることがあります。軟膏を塗って保護します。 ・お口の中が腫れて痛みがあるので、できればうがいをしましょう。 ・点滴をしている間は体拭きをします。・点滴が抜けた後は異常がなければ入浴できます。 			
排泄	点滴をしているため排尿回数が多くなります。			
安静	洗面やトイレは歩いて大丈夫ですが、それ以外はベッドの上で過ごしましょう。		状態が軽減してきたら、徐々に自由になります。	
特別な栄養管理の必要性	有			
栄養	<ul style="list-style-type: none"> ・口の中があれて食事が食べられなくなりますが、症状が落ち着けば食べられるようになります。それまでは点滴で栄養補給します。 ・食事内容に関して栄養課と相談することができます。 			
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・病名、入院期間は現時点で考えられるものです。今後検査等を進めていくにしたいが変換することがあります。病状に応じて予定が異なることがあります。その他ご不明な点がありましたら、医師・看護師にお尋ねください。 ・紹介医からご持参されたレントゲン写真などがある場合は、退院の際にお返し致します。 ・退院までの経過には個人差があり、必ずしもこの治療計画通りに経過しない場合もありますのでご了承ください。 			